

作成日 2022年06月02日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ヨウ素酸カルシウム
会社名 : バイオ科学株式会社
住所 : 徳島県阿南市那賀川町工地 246-1
電話番号 : 0884-42-3090
FAX 番号 : 0884-42-3092

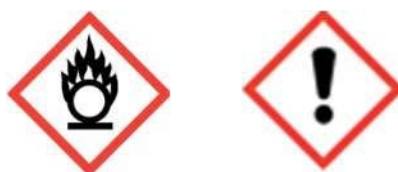
2. 危険有害性の分類

GHS 分類

物理化学的危険性 : 酸化性物質 区分 3
健康に対する有害性 : 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B
環境に対する有害性 : 分類できない
(注)記載なき項目は、分類対象外/区分外/分類できないものである。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 火災助長のおそれ (酸化性物質)
眼刺激
安全対策 : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
可燃物から遠ざけること。
可燃物との混合を回避するために予防策をとること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は、手や顔をよく手を洗うこと。
応急措置 : 眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズ
を着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける
こと。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 (又は一般名) : ヨウ素酸カルシウム
成分及び含有量 : ヨウ素酸カルシウム 95.0 %以上
化学式 (分子量) : $\text{Ca}(\text{IO}_3)_2$ (389.89)
官報公示整理番号 : (化審法) 1-185
(安衛法) 既存
(PRTR 法) 対象外
CAS No. : 7789-80-2
危険有害成分 : ヨウ素酸カルシウム

4.応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の場所に移す。呼吸困難な場合は酸素吸入を行い、医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を大量の水と石鹼で十分に洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で洗い流し、眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、医師の診察を受ける。

5.火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末消火剤（リン酸塩類を使用するもの）
- 火災時の特定危険有害性 : 製品にハロゲンを含有するため、火災時に刺激性、あるいは有害なヒューム（又はガス）を放出する。
- 特定の消火法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。
火元の燃焼源を絶ち、大量の水や消火剤を用いて一挙に消火する。
移動可能な容器は、すみやかに安全な場所に移動する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際は保護具を着用し、接触及び粉塵などの吸入を避けること。
十分な換気を行い、作業は風上から行い、風下の人を避難させること。
- 環境に対する注意事項 : 環境や河川に排出されないように注意。
- 除去方法 : ほうき、シャベルなどで可能な限り取り除き、密封できる容器に回収し、火元からは遠ざける。
- 二次災害の防止策 : 回収物、処理物の廃棄は、地方自治体の許可を得た産業廃棄物処理業者に依頼すること。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 適切な換気設備及び集塵装置を設置する。
適切な保護具を着用し、取扱い後は手や顔をよく洗う。
- 注意事項 : ヒュームや粉塵が発生しないよう注意すること。
- 保管
適当な保管条件 : 容器は密栓し、換気の良い、なるべく涼しく乾燥した暗所に保管する。
他の危険物、可燃物、有機物と一緒に保管しない。
- 安全な容器包装材料 : ガラス容器、樹脂容器、ポリ内袋紙容器など。

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所には、全体換気装置を設置する。
出来るだけ密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。
取り扱い場所の近くには、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : (日本産業衛生学会) 設定されていない。
(ACGIH) 設定されていない。
- 保護具
呼吸器用の保護具 : 防塵マスク
手の保護具 : 不浸透性保護手袋
目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 安全帽、護服、保護長靴
適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙は行わない。汚れた作業着は取替え、洗濯する。
特に閉鎖された場所では換気をする。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 固体 (結晶性粉末)
色	: 白色
臭い	: なし
pH	: データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: データなし
融点	: 550°Cで分解 (540°Cまで安定)
引火点	: データなし
爆発性	: データなし
比重 (密度)	: 4.519g/mL (15°C)
溶解性	: 水及びエタノールに溶けにくい。水 0.1% (0°C)

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管取り扱い条件下、乾燥空气中で安定。
反応性	: 加熱すると分解する。 還元剤、アルミニウム、ヒ素、炭素、銅、金属硫化物、有機物、リン、 硫黄と激しく反応する。助燃性がある。
避けるべき材料	: 日光、水分、強熱及び上記の混触危険物質との接触を避ける。
危険有害分解生成物	: 酸化カルシウム、ヨウ素、ヨウ化水素

11.有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 眼への軽度の刺激性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
感作性	: データなし
慢性毒性・長期毒性	: データなし
がん原性	: データなし
変異原性	: データなし
催奇形性	: データなし
生殖毒性	: データなし

12.環境影響情報

生態毒性 魚毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13.廃棄上の注意

残留物・未使用品の廃棄：国内の法令に従って処分する。都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
使用済み容器：内容物を完全に除去した後に、国内の法令に従って処分する。

14.輸送上の注意

国連分類 国連番号：1479

品名 酸化性物質 固体

Proer Shipping Name OXIDIZING SOLID, N.O.S.

クラス 5.1

PG II、III

海洋汚染物質 非該当

国際規制 海上規制情報：IMOの規定に従う。

航空規制情報：ICAO・IATAの規定に従う。

国内規制 陸上規制情報：消防法の規定に従う。

海上規制情報：消防法の規定に従う。

航空規制情報：航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

：運搬に際しては、容器の破損、漏れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いよう積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15.適用法令

飼料安全法：飼料添加物

消防法：第2条危険物第1類ヨウ素酸塩類第3種酸化性固体(1,000kg)

船舶安全法：危規則第3条危険物（酸化性物質類）

航空法：施行規則第194条危険物（酸化性物質）

港則法：施行規則第12条危険物（酸化性物質）

労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（沃化物）

16.その他の情報

記載した情報は、現時点での知識に基づいていますが、すべての情報を網羅したものではありません。適応する現行の法令を厳守してください。取扱い時には常に注意を払ってください。この製品を、通常目的以外で使用する場合には十分注意してください。記載した情報は、あくまで危険有害性物質を扱う者が作業を安全に遂行できるよう手助けするもので、保証するものではありません。